

必ずお読みください

メルカゾール錠を服用される方へ

このお薬の服用により**副作用として「無顆粒球症」**がおこることがあります。
(500 人～1000 人に 1 人の割合)

◆ 無顆粒球症とは？

血液中の白血球の成分のうち顆粒球（特に好中球）が著しく減少し、**細菌に対する抵抗力が弱くなった状態**のことです。無顆粒球症になると、細菌等に感染しやすくなり、肺炎や敗血症などの重症感染症を起こす場合もあります。

◆ 無顆粒球症の初期症状

初期症状として、かぜや扁桃腺炎の時と同様な発熱やのどの痛み、全身のけん怠感などがあります。このような症状がみられた場合は無顆粒球症の可能性があります。

かぜと軽く考えずに、速やかに当院や近くの病院の医師にご相談ください。

なお、その際はメルカゾール錠を服用していることをお伝えください。



熱がでる



のどが痛い



けん怠感

◆ 無顆粒球症を防ぐために

メルカゾール服用中に起こる無顆粒球症は血液成分中の顆粒球が減少する副作用です。無顆粒球症を防ぐためには、定期的な血液検査が大切です。

無顆粒球症はメルカゾールを飲み始めて3か月以内に多く発症しますので、**飲み始めの3ヶ月間は原則として2週間ごとに血液検査**を行います。3ヶ月以降も定期的に血液検査を行い、副作用の有無について確認を行います。

一度服薬を中止して服薬を再開する場合にも、同様の血液検査が必要です。
また、メルカゾールを飲んだり飲まなかったりすると、飲み始めて3ヶ月以降になっても副作用が起こる可能性が高くなるおそれがあります。

医師・薬剤師の指示通りに飲んでいただくことが大切です。